

令和 8 年度農作物病虫害発生予察技術資料第 4 号

令和 8 年(2026 年) 8 月 4 日
山 口 県 病 害 虫 防 除 所

水稻のトビイロウンカの発生状況と基幹防除の徹底について

7 月 5 日前後に県内への多飛来があったと考えられ、注意報第 3 号により防除の徹底を呼びかけているところです。

7 月下旬の巡回調査では大発生は確認されていないものの、少数の幼虫が発生したほ場が認められています。

出穂期前後の基幹防除の徹底をお願いします。

1 発生状況

- (1) 7 月下旬の巡回調査では、発生ほ場率 3.7%(平年 6.2%)、10 株当たり虫数 0.0 頭(平年 0.2 頭)で、平年に比べやや多かった(図 1)。
- (2) 予察灯における誘殺は 7 月 6 日以降、認められていない(図 2)。

2 防除適期予測

防除適期は第 2 世代幼虫期である 8 月 15～22 日頃と予測される(図 3)。

3 防除対策

- (1) 幼虫発生期にほ場の発生状況をよく確認し、防除の目安を超えた場合、防除を実施する。
- (2) 防除の目安は、8 月中旬以降は、株あたり成幼虫 5 頭以上である。
- (3) 発生予察情報に注意し、出穂期前後の基幹防除にはウンカ類に効果のある殺虫剤を必ず加える。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 本種は株元に集中するため、薬剤が株元にかかるよう丁寧に散布する。
- (2) 防除にあたっては、適正な薬剤散布作業の実施、使用基準の遵守など安全で効果的な防除に努める。

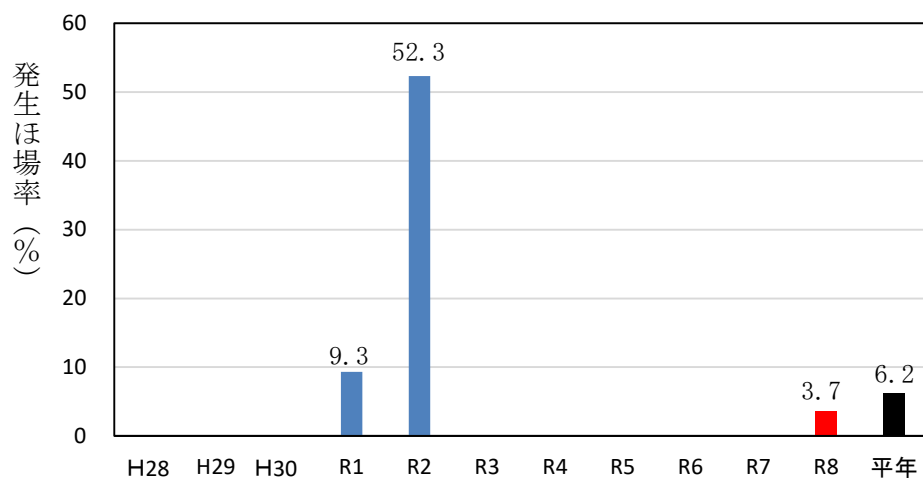


図1 トビイロウンカ発生ほ場率の年次比較（7月下旬巡回調査）

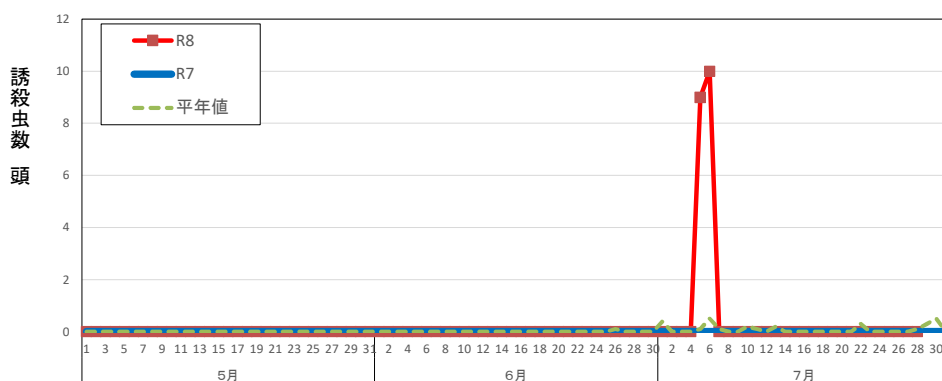


図2 予察灯におけるトビイロウンカ誘殺数（県内3カ所合計）

トビイロウンカ										JPPネット有効積算温度シミュレーション																			
		7月			8月						9月																		
飛来日	飛来量	25	30		5	10	15	20	25	30	5	10	15	20	25	30													
6月20日	少	第1世代成虫			卵			第2世代幼虫			第2世代成虫			卵			第3世代幼虫			第3世代成虫			卵						
7月1日	少	第1世代幼虫			第1世代成虫			卵			第2世代幼虫			第2世代成虫			卵			第3世代幼虫			第3世代成虫						
7月5日	中	第1世代幼虫			第1世代成虫			卵			第2世代幼虫			第2世代成虫			卵			第3世代幼虫			第3世代成虫						
										:防除適期										7月30日現在									

図3 トビイロウンカの防除適期予測図（予測日：7月30日）



写真1 短翅型成虫

写真2 長翅型成虫

写真3 幼虫

写真4 坪枯れ